

平成 29 年 度 一 般 採 用 試 験 ( 後 期 日 程 )

国 語 試 験 問 題

( 人 文 ・ 社 会 科 学 専 攻 )

( 注 意 )

1. 解答用紙の注意事項を確認のうえ、例にならって氏名及び受験番号を解答用紙に必ず記入及びマークすること。

例 【氏名】 防大 渚 【受験番号】 神奈川後人W1234 の場合

※氏名及び受験番号の記入について

	氏	名		志願地本名	専攻区分	番 号
フリガナ	ボウダイ	ナギサ		神奈川	後人	W1234
漢 字	防大	渚				
			受験番号			

※受験番号等のマークについて (女子受験者は、番号のWについてはマークしない。)

志願地本名	札幌：(01)	福島：(10)	専攻区分	番 号				
	函館：(02)	茨城：(11)		人 社 ●	(0)	(0)	(0)	(0)
	旭川：(03)	栃木：(12)			(●)	(1)	(1)	(1)
	帯広：(04)	群馬：(13)			(2)	(●)	(2)	(2)
	青森：(05)	埼玉：(14)		性 別	(3)	(3)	(●)	(3)
	岩手：(06)	千葉：(15)			(4)	(4)	(4)	(●)
	宮城：(07)	東京：(16)		男 (1)	(5)	(5)	(5)	(5)
	秋田：(08)	神奈川：(●)			(6)	(6)	(6)	(6)
	山形：(09)	新潟：(18)		女 (●)	(7)	(7)	(7)	(7)
					(8)	(8)	(8)	(8)
			(9)	(9)	(9)	(9)		

2. 試験時間中は、すべて試験係官の指示に従うこと。

3. 解答方法は、択一式であり、設問ごとの指示に従い、解答用紙の解答欄にマークすること。

例えば、**1**と表示のある問題に対して(3)と解答する場合は、次の例のように**1**の解答欄の**(3)**にマークすること。

例

解 答 欄					
<b>1</b>	(1)	(2)	(●)	(4)	(5)

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の  
問題から掲載することができませんので、ご了承承願します。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の  
問題から掲載することができませんので、ご了承承願します。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の  
問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

(星野俊也氏の「国連は『戦後』を超えられるのか——創設七〇年の変容と展望」  
二〇一六年五月による。なお出題の関係上、原文の表記を一部改めてある。)

\*(注) ISIL——「イラク・レバントのイスラム国」の略称。日本のメディアでは「イスラム国」  
と呼ばれることが多い。

国内避難民——戦争や内戦、政治・宗教・人種などを理由とする迫害などにより、国内で避  
難を余儀なくされた人々のこと。これに対して国外に避難した人々は難民  
と呼ばれる。

アルカイダ——二〇〇一年九月の米同時多発テロ事件を引き起こしたイスラム原理主義派  
テロ組織。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の  
問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

1

傍線部の片仮名(1)～(5)にあてはまる漢字として、本文の論旨に照らし、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 不変
- (2) 不倒
- (3) 専制
- (4) 疲弊
- (5) 政党

2

傍線部(a)が指し示す内容として、本文の論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 国連は旧連合国の組織としてスタートしたので、新しい加盟国は、戦勝国を代表する安保理常任理事国の承認を受けなければならない。
- (2) 国連は人類の福祉の増進といった普遍的な目的を掲げているため、それが国連に北朝鮮など世界秩序を脅かす国家に介入する権限を与えている。
- (3) 国連では五大国が拒否権を認められているため、冷戦期には米ソの拒否権行使によって、しばしば機能不全に陥ってきた。
- (4) 国連は高邁な目的を掲げている一方で、その実現にむけては、加盟国間での合意が前提になるので、国際社会での権力政治の影響を受けることが多い。
- (5) 安保理で五大国に圧倒的な権限が与えられているので、国連では中小国の声が反映される場が限られてきたため、今日では拒否権制度の見直しが求められている。

3

傍線部(b)が指し示す内容として、本文の論旨に照らして、最も不適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) ソーシャルメディア等を通じて、個人の意見を交換する場が格段に増えたため、政府への批判が政権転覆につながるような現象も起きた。
- (2) 途上国では、グローバル化の進行によって、国民の間で富者と貧者との二極化が進み、「脆弱国家」化が進んで、テロの温床となっている。
- (3) オバマ政権は、過去の政権による中東への介入が国民に不評であったのを気にして、シリアへの軍事作戦を抑制する傾向がある。
- (4) ロシアは、ウクライナからクリミアを一方的に併合したが、その背景には、かつての覇権を復活させて、自らの支持基盤を強固にしようとする大統領の野心があった。
- (5) 中国の習近平政権は、中国人民抗日戦争・世界反ファシズム戦争勝利七〇周年を記念して、大規模な軍事パレードを行い、自国の威信を国民に印象づけようとした。

国連に関して筆者が本文中で展開する議論の内容として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) グローバル化する今日の世界においては、国家のパワーと比べて、ますます人々のパワーが増大しているので、「国際の平和と安全の維持」は大國に任せ、国連は「人間の平和と安全の前進」に特化すべきである。
- (2) 「人間の平和と安全の前進」のためには、「保護する責任」論を活用して、国連が安保理を中心に積極的に介入し、テロや内戦などの災禍からより多くの人々を救うことが急務になっている。
- (3) 国際社会には世界政府が存在せず、国連での決定も国益を追求しようとする加盟国の間での妥協の産物という宿命から逃れられないが、人類の福祉の実現も国連の目的として明記されており、これらの問題に取り組んでいくことがますます重要になっている。
- (4) 国連では国際協調が不可欠ではあるが、近年内政の不干渉や国境線の不変更といった根本原則を、大國が公然と無視する動きが目立っており、このような動きを抑制するには、情報通信技術を活用して、これらの大國の人々のパワーを増進していく必要がある。
- (5) 主権平等や内政不干渉といった伝統的の原則は、グローバル化が進む世界で、人類の福祉という今後の国連の重要な目標を達成するうえで大きな支障となるので、それらにある程度制約できる方向に安保理改革を追求していく必要がある。

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の  
問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の  
問題から掲載することができませんので、ご了承願います。



この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の  
問題から掲載することができませんので、ご了承承願します。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の  
問題から掲載することができませんので、ご了承承願します。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

(竹田青嗣氏の『恋愛論』による。なお出題の関係上、原文の表記を一部改め  
ある。)

\* (注) ナルシシズム——自己を中心とする世界に生きようとする志向。

メランコリー——憂鬱、落ち込んだ気分。

ストア的——禁欲的、欲望抑制的、ストイック。

露文学——ロシア文学。

実践躬行——他の人の助けや力を借りず、自分一人で実行すること。

フロイト——ジクムント・フロイト。精神分析学を確立した。

ヘーゲル——ドイツの哲学者。

5

傍線部の漢字(1)～(5)の読みとして、本文の論旨に照らして、誤っているものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) ハンチュウ
- (2) フギョウ
- (3) ショウジン
- (4) ジジ
- (5) アイシヤク

6

二重傍線部(不思議な両義性)に関する説明として、本文の論旨に照らして、最も不適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 青年期の成長過程で自己愛が存立するためには、他者から愛され承認されることが不可欠であるということ。
- (2) 「自我」があり自己中心的事であることと、他者を許容してその存在を受容することは矛盾しないということ。
- (3) 自分をめぐる幻想に依拠しているナルシズムは、実は他者との関係を排除しては成立し得ないということ。
- (4) 自己中心性としてのナルシズムが、他者との関係の中で利己的なエゴイズムに反転してしまうということ。
- (5) 自分を愛するという自己中心性は、自分の外部の倫理や理想を取り込むことに深く関与しているということ。

7

空欄 A

B

にそれぞれ入る言葉として、本文の論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) A 未来の、選択された B 人格の求心性と単独性
- (2) A 精神の、捏造された B 生命の充溢性と情緒性
- (3) A 高次の、修正された B 自我の自立性と中心性
- (4) A 虚構の、想像された B 自己の固有機性と独立性
- (5) A 非在の、憧憬された B 精神の全体性と永遠性

本文の論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 二葉亭四迷や夏目漱石の文章に見られる「自我理想」は、青年期に自分を身をロマン化して精神的成長を促進するものであるが、それは自己の独自性を意識して自信を持つことだけではなく、空想的な「世界」における挫折の体験にも依拠するものである。
- (2) 自分が理想とする人物や理念に対する憧憬は、現実と理想をめぐる矛盾や自己愛の喪失などのネガティブな事態を引き起こすとともに、自己同一性の根拠となる「自己のロマン性」を担保し、生を味わう根源的な力を創出するポジティブな要因でもある。
- (3) 情緒性という要素は、人間のみには備わった身体性として快・不快の原理に基づいた行動規範を生み出すものであるが、そこで自らが生きる「世界」を時間性として味わうためには、エロスの原理であるナルシズムによって自己を中心化する必要がある。
- (4) 「自我理想」は、思春期から青年期の成長過程で育まれるロマン的世界を理念化したものであり、人間の社会的なアイデンティティがそこで発見され、自分が自分であるところの存在論的な理由が確立されることによつて、確固たる生の規範が形作られる。
- (5) 子供時代に様々な「物語」を空想するということは人間存在にとって必然的な成長過程であり、自我を除外した広大な「世界創造」として夢見られるその経験は、自分を取り巻く「世界」の中に更なる「未知」を発見してゆく体験として重要性を持っている。

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

(湯浅常山の『常山紀談』による)

\* (注) 石田治部少輔三成——安土桃山時代の武将。

近江国石田村——現滋賀県長浜市。

秀吉——豊臣秀吉。この時期長浜の城主であった。

禄——武士の受ける給与。

水口——現滋賀県甲賀市。

島左近——安土桃山時代の武将。

佐和山——現滋賀県彦根市。十九万五千石の領主となった石田三成の居城。

江州高宮——現滋賀県彦根市。

9

傍線部(1)の現代語訳として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) お前のところに「小禄」でなぜ仕えることが当然といえるのか。
- (2) お前のところに「小禄」でなぜ仕えることができるのか。
- (3) お前のところに「小禄」でどうして仕えることが適当であろうか、いやない。
- (4) お前のところに「小禄」でどうして仕えることがあろうか、いやない。
- (5) お前のところに「小禄」でどうして仕えることができるであろうか、いやない。

10

傍線部(2)の具体的な説明として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 大名並みの二万石という「禄」が欲しいという左近の気持ちを三成が推し量った。
- (2) 主人と同じ「禄」という前代未聞の待遇で評価して左近を迎え入れたいと三成が思った。
- (3) 主君の室町將軍家が亡んで、新たな武將に仕えたいという左近の気持ちを三成が推し量った。
- (4) 貧しくひっそりと暮らしていたのをよくぞ見つけてくれたという左近の気持ちを三成が推し量った。
- (5) 今は四万石の大名だが、三成は将来必ず出世するだろうと左近は考えると思った。

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。ただし、設問の都合上、送り仮名を省いたところがある。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

〔蒙求〕による

\*〔注〕 呉志——三国時代、呉の歴史書。

陸抗——三国時代、呉の武将。

羊祜——西晋の武将。

南夏——荊州。現在の湖北・湖南の地方。

石城——現在の湖北省にあった。

初附——降伏したばかりの者。

樂毅——戦国時代、燕の武将。

諸葛孔明——三国時代、蜀の丞相。

酖——毒で人を殺す。

華元——春秋時代、宋の政治家。

子反——春秋時代、楚の將軍。

戍——国境を守備する兵士。

分界——国境。

孫皓——三国時代、呉の四代皇帝。

大司馬——官名。軍事を司る。

荊州牧——官名。荊州の長官。

11

空欄 A C に入る言葉の組み合わせとして最も適当な組み合わせを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) A 飲 B 諫 C 詰
- (2) A 敗 B 詰 C 諫
- (3) A 服 B 諫 C 詰
- (4) A 飲 B 命 C 諫
- (5) A 服 B 詰 C 諫

12

本文の内容に照らして最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 陸抗が病になったとき、羊祜より送られてきた薬を飲んだのは華元と子反の関係を理想としていたからである。
- (2) 主君の孫皓が一斉攻撃を命じても、陸抗は信義の重要性を説いて、羊祜との関係の方を優先して従わなかった。
- (3) 陸抗は、羊祜の徳のみならず戦術家としての技量を高く評価し、樂毅や諸葛孔明をもそれには及ばないとした。
- (4) 陸抗は、羊祜が徳をもって行っているのに、自分が暴力でねじ伏せるようなことを行えば、結果として羊祜を利することになると自覚していた。
- (5) 晋に対して降伏する呉人が絶えなかったのは、羊祜が徳のある人物であるのみならず、陸抗の徳が足りなかったからである。